令和８年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和８年11月13日

上場会社名　株式会社トーア紡コーポレーション　上場取引所　東
コード番号　3204　ＵＲＬ　https://www.toabo.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）長井　渡
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経理担当　（氏名）竹川　宗一郎　ＴＥＬ　06－7178－1158
配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和８年12月期第３四半期の連結業績（令和８年１月１日～令和８年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
８年12月期第３四半期	13,044	0.7	438	△12.9	536	△10.4	593	69.7
７年12月期第３四半期	12,958	△3.5	503	3.4	598	2.0	349	△0.0

（注）包括利益　８年12月期第３四半期　1,006百万円（86.1%）　７年12月期第３四半期　541百万円（60.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
８年12月期第３四半期	67.53	－
７年12月期第３四半期	39.71	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
８年12月期第３四半期	34,523	14,804	42.9	1,696.62
７年12月期	34,309	13,975	40.7	1,583.15

（参考）自己資本　８年12月期第３四半期　14,804百万円　７年12月期　13,975百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
７年12月期	－	0.00	－	14.00	14.00
８年12月期	－	0.00	－		
８年12月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．令和８年12月期の連結業績予想（令和８年１月１日～令和８年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	5.9	800	40.3	720	△1.5	520	△20.8	59.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	８年12月期３Ｑ	8,940,448株	７年12月期	8,940,448株
②　期末自己株式数	８年12月期３Ｑ	214,373株	７年12月期	112,964株
③　期中平均株式数（四半期累計）	８年12月期３Ｑ	8,784,446株	７年12月期３Ｑ	8,802,406株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（収益認識関係） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や設備投資が底堅く推移し、緩やかな回復傾向が続きました。一方、中東地域における地政学リスクの高まりに伴う原油・原材料価格の高騰や、長引く物価高による消費マインドの下振れ懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は13,044百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は438百万円（前年同期比12.9%減）、経常利益は536百万円（前年同期比10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は593百万円（前年同期比69.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

［衣料事業］

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造・販売および制服の縫製加工、ニット製品の製造・販売を行っております。

毛糸部門は、羊毛相場の高騰を受けて客先からの受注が振るわず、減収となりました。

ユニフォーム部門のスクール制服向け素材およびニット製品は、スクールアパレルの在庫調整の局面が未だに収束せず、減収となりました。官公庁制服向け素材は別注案件の減少と調達量の減少により、減収となりました。企業制服向け素材も追加受注の不調により、減収となりました。

テキスタイル部門は、新規案件の獲得により増収となりましたが、為替の影響と羊毛相場の高騰により損益の改善にはいたりませんでした。

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人は、日本向けの受注が減少し、減収となりました。

この結果、売上高4,219百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益97百万円（前年同期比64.2%減）となりました。

［インテリア産業資材事業］

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、住宅建材・排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア関連製品、オレフィン系短繊維の製造および販売を行っております。

全体では自動車の生産量が戻り、産業資材関係の受注も順調に推移しました。

自動車内装材部門は、受注車種の生産販売が非常に好調で、原材料価格、電力費、光熱費の高騰に対する価格転嫁もでき、増収となりました。

ポリプロファイバー部門は、自動車内装材用原綿の販売数量の増加や展示会、イベントの開催が旺盛でカーペット用原綿の受注が順調に推移し、価格転嫁も円滑に行えたため、増収増益となりました。

カーペット部門は、需要の停滞により減収となりました。

特殊繊維部門は、設備のメンテナンスや人材育成の進捗により増産体制が構築でき、増収となりました。

不織布部門は、防草、寝装、緑化、複合資材と全体でバランスよく受注が推移したため、増収増益となりました。

また、前年は中国現地法人の売上高がありましたが、持分譲渡により当期の売上高はありません。

この結果、売上高5,385百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益288百万円（前年同期比167.3%増）となりました。

［エレクトロニクス事業］

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っております。

主力の電動工具向けコントローラーやIC単体部品の販売が好調に推移しました。中国向け偏光フィルムや減速機向けベアリングの販売の落込みがありましたが、産業機器分野ではAIデータセンター向け半導体部品および電子部品販売の好調を維持することができ、増収となりました。しかしながら、粗利率の低い製品の販売割合が増えたため営業損失は増加しました。

この結果、売上高956百万円（前年同期比24.3%増）、営業損失17百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

［ファインケミカル事業］

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、電子材料用および工業用薬品の製造および販売を行っております。

電子材料分野は、半導体向けの生産販売が堅調に推移しましたが、機能性材料において、原料の調達難と価格高騰に加えて顧客先の設備トラブルが重なり、減収減益となりました。

この結果、売上高1,103百万円（前年同期比1.0％減）、営業利益46百万円（前年同期比51.2％減）となりました。

［不動産事業］

不動産事業は、主に郊外型ショッピングセンター・ロードサイド店舗・オフィスビルの賃貸などを行っております。

ショッピングセンターのテナントの一部が撤退した影響を受け、減収減益となりました。

この結果、売上高659百万円（前年同期比1.5％減）、営業利益374百万円（前年同期比2.8％減）となりました。

［その他］

その他の事業は、自動車学校の運営、ヘルスケア商品の販売、洋菓子店の運営などを行っております。

自動車教習事業は、夏休みの大学生向けに積極的に営業活動を行いましたが、前年非常に好調であった湖西校の入校生数が伸び悩み減収となりました。

ヘルスケア事業は、子会社のムサシノ製薬では強壮剤などの販売が好調に推移し増収でしたが、全体では化粧品分野の販売が伸びず減収となりました。

洋菓子店の運営事業は、店舗売上が好調で増収となりました。

この結果、その他の事業全体の売上高は719百万円（前年同期比28.7％増）、営業損失57百万円（前年同期は営業損失65百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比213百万円増加し、34,523百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比615百万円減少し、19,718百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金と繰延税金負債等が増加した一方で、短期借入金等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比829百万円増加し、14,804百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和８年12月期の業績予想につきましては、令和８年２月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （令和７年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （令和８年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,973	1,659
受取手形及び売掛金	2,127	2,065
電子記録債権	547	728
商品及び製品	2,715	2,578
仕掛品	553	634
原材料及び貯蔵品	2,004	2,364
その他	833	401
貸倒引当金	△4	△9
流動資産合計	10,750	10,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,049	2,181
機械装置及び運搬具（純額）	562	578
土地	17,055	17,055
リース資産（純額）	103	95
建設仮勘定	95	3
その他（純額）	77	107
有形固定資産合計	19,944	20,022
無形固定資産		
その他	35	29
無形固定資産合計	35	29
投資その他の資産		
投資有価証券	2,875	3,342
繰延税金資産	89	84
その他	669	680
貸倒引当金	△55	△59
投資その他の資産合計	3,578	4,047
固定資産合計	23,558	24,100
資産合計	34,309	34,523

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （令和７年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （令和８年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,399	1,686
短期借入金	5,175	4,027
未払法人税等	251	218
賞与引当金	－	120
その他	1,157	1,086
流動負債合計	7,984	7,138
固定負債		
長期借入金	6,394	6,488
繰延税金負債	4,480	4,655
退職給付に係る負債	830	785
長期預り敷金保証金	509	519
資産除去債務	56	57
その他	77	72
固定負債合計	12,349	12,579
負債合計	20,333	19,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	4,871	5,340
自己株式	△54	△108
株主資本合計	12,321	12,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,130	1,502
繰延ヘッジ損益	3	△4
為替換算調整勘定	520	569
その他の包括利益累計額合計	1,653	2,067
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,975	14,804
負債純資産合計	34,309	34,523

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　令和７年１月１日 至　令和７年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　令和８年１月１日 至　令和８年９月30日）
売上高	12,958	13,044
売上原価	10,227	10,430
売上総利益	2,731	2,614
販売費及び一般管理費	2,227	2,175
営業利益	503	438
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	62	143
為替差益	99	16
その他	39	62
営業外収益合計	208	228
営業外費用		
支払利息	90	103
持分法による投資損失	0	2
その他	23	24
営業外費用合計	113	130
経常利益	598	536
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	196	410
特別利益合計	196	411
特別損失		
固定資産廃棄損	2	27
固定資産圧縮損	－	1
災害による損失	2	8
ゴルフ会員権評価損	－	0
関係会社清算損	7	－
特別損失合計	12	37
税金等調整前四半期純利益	782	910
法人税、住民税及び事業税	357	334
法人税等調整額	79	△16
法人税等合計	437	317
四半期純利益	345	593
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	349	593

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　令和７年１月１日 至　令和７年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　令和８年１月１日 至　令和８年９月30日）
四半期純利益	345	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	365	372
繰延ヘッジ損益	△4	△7
為替換算調整勘定	△152	39
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	10
その他の包括利益合計	195	413
四半期包括利益	541	1,006
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	544	1,007
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　令和７年１月１日　至　令和７年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	衣料事業	インテリア産業資材事業	エレクトロニクス事業	ファインケミカル事業	不動産事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,494	5,349	769	1,115	670	12,399	558	12,958	－	12,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	15	1	－	13	45	247	292	△292	－
計	4,509	5,364	771	1,115	683	12,444	806	13,251	△292	12,958
セグメント利益又は損失（△）	272	107	△12	94	385	847	△65	781	△278	503

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

２.セグメント利益又は損失の調整額△278百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△277百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　令和８年１月１日　至　令和８年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	衣料事業	インテリア産業資材事業	エレクトロニクス事業	ファインケミカル事業	不動産事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,219	5,385	956	1,103	659	12,325	719	13,044	－	13,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	15	3	－	11	44	249	294	△294	－
計	4,234	5,400	960	1,103	670	12,369	969	13,339	△294	13,044
セグメント利益又は損失（△）	97	288	△17	46	374	789	△57	732	△293	438

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

２.セグメント利益又は損失の調整額△293百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　令和７年１月１日 至　令和７年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　令和８年１月１日 至　令和８年９月30日）
減価償却費	333百万円	301百万円
のれんの償却額	5	―

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第３四半期連結累計期間（自　令和７年１月１日　至　令和７年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	四半期連結損益計算書計上額
	衣料事業	インテリア産業資材事業	エレクトロニクス事業	ファインケミカル事業	不動産事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,487	5,279	769	1,115	43	11,696	558	12,255
その他の収益	7	69	－	－	626	703	－	703
計	4,494	5,349	769	1,115	670	12,399	558	12,958

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

当第３四半期連結累計期間（自　令和８年１月１日　至　令和８年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	四半期連結損益計算書計上額
	衣料事業	インテリア産業資材事業	エレクトロニクス事業	ファインケミカル事業	不動産事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,211	5,315	956	1,103	43	11,631	719	12,351
その他の収益	7	69	－	－	615	693	－	693
計	4,219	5,385	956	1,103	659	12,325	719	13,044

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。